

地域再生計画事後評価シート

計画の概要	計画名	「LEDが魅せるまち・とくしま」推進プロジェクト	認定回	第11回
			認定年月日	平成20年11月11日
	作成主体	徳島市		
	計画区域	徳島市の全域		
	計画期間	平成20年度～平成22年度		
	支援措置	官民パートナーシップ確立のための支援事業		
支援期間	平成20年11月18日～平成21年2月27日			

目標の達成状況	指標名	設定時	目標値	実績値	評価
	市内に事業所を有するLED関連企業数	15社 (H19)	26社 (H22)	47社 (H22)	○
	ひょうたん島周遊船の乗船者数	26,879人 (H19)	28,000人 (H22)	41,803人 (H22)	○
	「LEDが魅せるまち・とくしま」活動参加者数	未実施 (H19)	400人 (H22)	2,892人 (H22)	○

支援措置を活用する事業	事業計画	実施状況
オープンハウスの設置運営	徳島市とNPO法人コモンズとの運営会議の開催	徳島市とNPO法人コモンズの担当者によるプロジェクトチームを編成し、運営会議で協議のうえ事業の決定を図った。支援期間には、8回の運営会議を開催した。
	LEDセミナーの開催【LEDを知る・学ぶ】	「LEDが魅せるまち・とくしま」を実現するために、コモンズと協働の運営による「場＝オープンハウス」を設置し、「知って得するLEDの基礎知識」、「生活に生きるLEDの役割」、「市民とつくるLEDアート」と題したセミナーや徳島LEDアートフェスティバルに向けたシンポジウムを3回開催し、延べ288人の参加があった。
	LEDワークショップの開催【LEDを生かす・使う】	セミナーの開催に合わせ、「作品づくりのイメージをふくらまそう」、「作品づくりの構想をまとめよう」、「88個の作品を飾り付けよう」と題したワークショップを3回開催し、延べ138人が参加した。また、ワークショップの成果発表として開催したLEDアート作品展には3000人が来場した。
	LED活動の情報発信【LEDを伝える】	オープンハウスの手法を用いたパネル展(5ヶ所、延べ15日間)やものづくり工房(1ヵ所、6日間)を開催するとともに、来場者に対してアンケート調査を実施し、188人から回答を得た。また、かわら版「LEDが魅せるまち・徳島通信」を4回発行し、取り組み状況等を発信した。

その他の事業	事業名	実施状況
	LEDアートフェスティバルの開催	徳島LEDアートフェスティバル2010は、「LEDが織りなす水と光の交響」をキャッチフレーズに掲げ、2010年4月17日(土)～25日(日)までの9日間、芸術文化と最新のLED技術が出逢う芸術祭として初めて開催し、来場者総数は、目標としていた10万人を大きく上回る約20万人に上った。また、約110人の市民によるサポーターズクラブも設立され、企画・立案の段階からイベント等の運営まで積極的に参画した。
	LEDを生かしたまちづくり	様々な公共事業においてLEDの活用を目指して、より効果的な推進を図るため市役所の関係部署が集まり、庁内研究会を実施した。その結果、道路や施設等の改修に合わせてLED照明等が設置された。また、民間でも自社ビル等へLEDが取り付けられる等の取り組みが行われた。
	LED景観整備事業	徳島LEDアートフェスティバル2010の開催に合わせ、両国橋とふれあい橋にLEDアート作品を設置し、常設展示している。平成22年度からは、新町橋のLED景観整備に向けて計画を進めている。
	LED関連企業の誘致	LEDに関する大学等の研究機関や世界最大のLEDメーカーの存在を徳島の強み(特徴)とした「徳島市企業誘致推進プラン」を平成20年度に策定するとともに、平成22年度にはLED起業家育成資金を創設し、更なるLED関連産業の誘致に努めている。

総評及び今後の方向性	徳島LEDアートフェスティバルの開催によって、市民・企業・大学・専門家等との協働、LEDの「光」をキーワードとした新たな交流の促進やまちづくりに対する市民意識の高揚、更には市民が主体となったまちづくりへと発展させることできた。また、LED景観整備やLEDを活用したまちづくりを通して、光の要素を加えた新しい「水都・とくしま」の創造するとともに、「徳島＝LED」というブランドイメージを全国に向けた発信ができた。今後も引き続き、LEDアートフェスティバルを3年に1度開催するなど、「LEDが魅せるまち・とくしま」の実現を目指す。
------------	---

# 地域再生計画事後評価シートの見方

**本評価は、地域再生計画の「7 目標の達成状況に係る評価に関する事項」に基づき、目標の達成状況等について公表するものです。**

## 地域再生計画事後評価シート

計画の概要	計画名	「LEDが魅せるまち・とくしま」推進プロジェクト	認定回	第11回
			認定年月日	平成20年11月11日
	作成主体	徳島市		
	計画区域	徳島市の全域		
	計画期間	平成20年度～平成22年度		
	支援措置	官民パートナーシップ確立のための支援事業		
支援期間	平成20年11月18日～平成21年2月27日			

計画の名称や期間、区域、活用する支援措置など、計画の概要を記載しています。

目標の達成状況	指標名	設定時	目標値	実績値	評価
	市内に事業所を有するLED関連企業数	15社 (H19)	26社 (H22)	47社 (H22)	○
	ひょうたん島周遊船の乗船者数	26,879人 (H19)	28,000人 (H22)	41,803人 (H22)	○
	「LEDが魅せるまち・とくしま」活動参加者数	未実施 (H19)	400人 (H22)	2,892人 (H22)	○

「4 地域再生計画の目標」に掲げた目標について、達成状況を記載しています。

各目標の達成状況を次の3段階で評価しています。

達成・・・○  
概ね達成・・・△  
(80%以上)  
未達成・・・×

支援措置を活用する事業	事業計画	実施状況
	徳島市とNPO法人コモンズとの運営会議の開催	徳島市とNPO法人コモンズの担当者によるプロジェクトチームを編成し、運営会議で協議のうえ事業の決定を図った。支援期間には、8回の運営会議を開催した。
オープンハウスの設置運営	LEDセミナーの開催【LEDを知る・学ぶ】	「LEDが魅せるまち・とくしま」を実現するために、コモンズと協働の運営による「場＝オープンハウス」を設置し、「知って得するLEDの基礎知識」、「生活に生きるLEDの役割」、「市民とつくるLEDアート」と題したセミナーや徳島LEDアートフェスティバルに向けたシンポジウムを3回開催し、延べ288人の参加があった。
	LEDワークショップの開催【LEDを生かす・使う】	セミナーの開催に合わせ、「作品づくりのイメージをふくらまそう」、「作品づくりの構想をまとめよう」、「88個の作品を飾り付けよう」と題したワークショップを3回開催し、延べ138人が参加した。また、ワークショップの成果発表として開催したLEDアート作品展には3000人が来場した。
	LED活動の情報発信【LEDを伝える】	オープンハウスの手法を用いたパネル展(5ヶ所、延べ15日間)やものづくり工房(1カ所、6日間)を開催するとともに、来場者に対してアンケート調査を実施し、188人から回答を得た。また、かわら版「LEDが魅せるまち・徳島通信」を4回発行し、取り組み状況等を発信した。

地域再生法又は地域再生基本方針に基づく支援措置を活用する事業について、実施状況を記載しています。

その他の事業	事業名	実施状況
	LEDアートフェスティバルの開催	徳島LEDアートフェスティバル2010は、「LEDが織りなす水と光の交響」をキャッチフレーズに掲げ、2010年4月17日(土)～25日(日)までの9日間、芸術文化と最新のLED技術が出逢う芸術祭として初めて開催し、来場者総数は、目標としていた10万人を大きく上回る約20万人に上った。また、約110人の市民によるサポーターズクラブも設立され、企画・立案の段階からイベント等の運営まで積極的に参画した。
	LEDを生かしたまちづくり	様々な公共事業においてLEDの活用を目指して、より効果的な推進を図るため市役所の関係部署が集まり、庁内研究会を実施した。その結果、道路や施設等の改修に合わせてLED照明等が設置された。また、民間でも自社ビル等へLEDが取り付けられる等の取り組みが行われた。
	LED景観整備事業	徳島LEDアートフェスティバル2010の開催に合わせ、両国橋とふれあい橋にLEDアート作品を設置し、常設展示している。平成22年度からは、新町橋のLED景観整備に向けて計画を進めている。
	LED関連企業の誘致	LEDに関する大学等の研究機関や世界最大のLEDメーカーの存在を徳島の強み(特徴)とした「徳島市企業誘致推進プラン」を平成20年度に策定するとともに、平成22年度にはLED起業家育成資金を創設し、更なるLED関連産業の誘致に努めている。

計画に位置付けた、支援措置を活用しない独自の取組について、実施状況を記載しています。

目標の達成状況や事業の実施状況を踏まえて、全体の評価と今後の方向性を記載しています。

総評及び今後の方向性	徳島LEDアートフェスティバルの開催によって、市民・企業・大学・専門家等との協働、LEDの「光」をキーワードとした新たな交流の促進やまちづくりに対する市民意識の高揚、更には市民が主体となったまちづくりへと発展させることできた。また、LED景観整備やLEDを活用したまちづくりを通して、光の要素を加えた新しい「水都・とくしま」の創造するとともに、「徳島＝LED」というブランドイメージを全国に向けた発信ができた。今後も引き続き、LEDアートフェスティバルを3年に1度開催するなど、「LEDが魅せるまち・とくしま」の実現を目指す。
------------	---